

平成 30 年度 芸術文化事業の状況

- ・ギャラリー、視聴覚ホール(定員 198 名)、交流アトリウム、文化活動室、会議室、和室、日本自分史センター及び文化情報プラザは文芸館
- ・市民会館(定員 1,022 名)

1 自主文化事業

(1) 文芸系事業

事業名	日本自分史センター運営		
ミッション	4 地域コミュニティ形成—つながる		
日時	通年(月曜休み) 9:00~19:00、自分史相談は毎週火・金曜日 13:00~17:00		
会場	日本自分史センター		
相談員	芳賀倫子、安藤錦風		
入場料等	無料		
利用者数	453 人	利用率	— 自主財源比率 1.4%
収入	17,000 円	助成金	— 支出 1,230,280 円
データ	蔵書/8,120 タイトル 寄贈/80 タイトル 書籍貸出/76 冊 相談日数/93 日 相談件数/103 件		
事業内容	(1) 全国の自分史関連団体や個人の自分史作品を受け入れ、収集・保存・公開を行う。 (2) 専門の相談員が無料で行う「自分史相談」を定期的に開催し、文章の書き方から書籍発行まで、レベルや要望に合わせて相談に応じている。遠方の方を対象に添削サービスも行っている。		
成果	(1) 公共施設が自分史事業を柱にしているのは珍しく、全国各地から来館者が訪れている。今年度から、文化情報プラザに本棚を設置。より効果的な自分史のアピールを試行錯誤しながら進めている。 (2) 「自分史相談」では、自分史を作りたい人はもちろん、自分史制作後の報告にも訪れている。自分史サークルの定期的な自分史制作活動は、地域交流の場を作りあげている。		
備考			

事業名	公募自分史		
ミッション	3 普及啓発ーひろがる		
募集期間	6/15（金）～9/1（土）		
監修	安藤錦風（日本自分史センター相談員、ノンフィクションライター）		
入場料等	無料		
利用者数	—	利用率	—
収入	136,800 円	助成金	—
データ	応募数／154 作品 作品集への掲載数／38 作品 作品集／1 冊 1,000 円（税込）		
事業内容	自分史活動の振興と春日井市の PR を図るため、初心者でも比較的取り組みやすい短編の自分史作品を全国から公募。今年度で 16 回目を迎えた。今回のテーマは「旅に遊び 旅に学ぶ」。演劇×自分史プロジェクト第 2 弾の公演『旅旅』に合わせて発刊し、ロビー販売を行った。		
成果	応募数増加を目的とし、メール受付を開始。普段、応募が見られない県や比較的若い世代からの応募が見受けられた。演劇×自分史公演とのコラボレーションは今後の宣伝の方法や他事業との新たな連携の可能性を感じる機会となった。		
備考			

事業名	自分史講座		
ミッション	3 普及啓発ーひろがる		
会場	文化活動室		
受講者数	計 36 名	受講率	—
収入	156,000 円	助成金	—
事業内容	（１）「エッセイ講座」 6/7～8/9 までの毎週木曜日 19:00～21:00 全 10 回 受講料：5,000 円 受講者数 20 名 講師：芳賀倫子（日本自分史センター相談員、シナリオライター） （２）「大人のための文章講座」 11/6～12/18 までの毎週火曜日 10:00～12:00 全 6 回 受講料：3,500 円 受講者数 16 名 講師：安藤錦風（日本自分史センター相談員、ノンフィクションライター）		
成果	（１）一人ひとりが作品内容を発表し、他人の作品について考える時間が有意義と評判。講座終了後、芳賀氏が講師を務めるエッセイクラブへ 10 名が入会した。文章を書くことの魅力を感じてもらい、自分史人口の輪を広げることができた。 （２）講座修了時には、個々の冊子を作成。「孫に残すことができる」「自分だけの本ができて嬉しい」との意見が聞かれた。アンケートでは講座を通し 16 名中 15 名が「満足／やや満足」と回答。満足度の高い講座となった。		
備考			

(2) 美術系事業

事業名	作家支援事業 歌人・鈴掛真 短歌展 そして言葉の導く先に		
ミッション	1 創造—つくる		
日時	5/8（火）～20（日）10:00～17:00 12日間開催		
会場	ギャラリー		
出品作家	鈴掛真（歌人）		
入場料等	無料、青少年鑑賞サポート無料（41名）		
入場者数	835名	入場率	—
収入	9,500円	助成金	—
		自主財源比率	1.7%
支出			567,634円
事業内容	春日井出身の若手歌人・鈴掛真が、映像やインスタレーションの手法を用いて、自身作の短歌を展示。光と影のコントラストで作品を浮き立たせる展示プランを、空間デザイナーの協力のもと、作家とともに作り上げた。 展示作品／ギャラリー内12点、ホワイエ（キャンバス刺繍）10点、計22点展示		
成果	プロジェクターを使ってギャラリーの壁面に大きく短歌を投影し、日本古来の印象とは異なる自由な文学表現を再発見してもらえる機会となった。この演出により、作家のファンである20～30代の若者が全国各地から訪れ、話題となった。関連事業では、短歌づくりのポイントを聞いた後、参加者一人ずつが歌を詠んだ。講師から丁寧な添削を受けたことで、満足度の高いワークショップとなった。		
関連事業	（1）「初めての短歌ワークショップ」 5/19（土）14:00～16:30 会議室 参加料500円 参加者数19名 講師：鈴掛真		
備考			

事業名	おばあちゃん、なんばしょっと！？ 西本喜美子写真展「みんなで遊ば、楽しかよ！」		
ミッション	2 鑑賞－みせる		
日時	5/30（水）～6/10（日）10:00～17:00（金・土は19:30まで） 11日間開催		
会場	ギャラリー		
出品作家	西本喜美子		
入場料等	大人 500 円、青少年鑑賞サポート無料（198 名）、 65 歳以上及び 6 / 1 （金）春日井市制記念日は入場無料		
入場者数	3,598 名	入 場 率	— 自主財源比率 26.7%
収 入	701,290 円	助 成 金	— 支 出 2,621,769 円
事業内容	72 歳から写真を始め、82 歳で発表したセルフポートレイトで一躍有名になった西本喜美子氏の写真展。話題の自撮り写真を中心に 107 点を展示した。		
成 果	ユーモアあふれる作品群は、「人は何歳からでも新しいことを始められる」という励ましとしても受け止められ、子どもから高齢者まで幅広い世代に好評を博した。その結果、自主事業の有料の展覧会として、財団が指定管理者となって以降、来場者数は歴代 2 位を記録した。また、関連事業のトークイベントがきっかけとなり、西本喜美子氏の先生であり長男の西本和民氏による写真講座を開催。スマートフォンでも参加できる気軽さから、どのレベルの参加者にとっても新しい発見のある講座を開催することができた。12 月には、トークイベントや写真講座の参加者らによる「あの時決まった写真展」を開催。市民に作品を発表することの楽しさを感じる機会を提供できた。		
関連事業	（1）「西本喜美子トークイベント」 6 / 2 （土）11:00～12:00 視聴覚ホール 参加無料 参加者数 178 名 講師：西本喜美子 （2）「写真は頭で撮る！目からウロコの 1 日限定写真講座」 9 / 17 （月・祝）13:00～17:00 会議室 参加料 1,500 円 参加者数 73 名 講師：西本和民 （3）「あの時決まった写真展」 12 / 14 （金）～24（月・休）10:00～17:00 10 日間開催 ギャラリー 入場無料 来場者数 1,001 名 出品者：市民・財団職員 44 名、西本喜美子、西本和民		
備 考			

事業名	いのまたむつみ展		
ミッション	2 鑑賞－みせる		
日時	2/9（土）～3/10（日）10:00～17:00 26日間開催		
会場	ギャラリー		
出品作家	いのまたむつみ		
入場料等	500 円、クリアファイル付き入場券 800 円、青少年鑑賞サポート無料（287 名）		
入場者数	2,778 名	入場率	— 自主財源比率 61.3%
収入	2,237,245 円	助成金	300,000 円 支出 4,138,159 円
事業内容	画業 40 周年を迎えた、日本を代表するイラストレーター いのまたむつみの原画展。春日井では初となる、アニメ関係のイラストレーターの展覧会を開催。		
成果	肉筆画を中心に 207 点の原画を一堂に展示し、原画ならではの魅力を多くの来場者に伝えることができた。いのまた氏の人気は高く、全国各地から多くのファンが来館した。また、著名なイラストレーターの展覧会が地方都市である春日井で開催されたことへの評価も高く、SNS を中心に大きな反響があった。		
関連事業	（1）いのまたむつみサイン会 3/3（土）14:00～16:30 ギャラリー附属室 参加無料（展覧会入場料別、物販 3,000 円以上購入者のみ） 参加者数 150 名		
備考	助成／公益財団法人瀬戸信用金庫地域振興協力基金		

(3) 舞台系事業

事業名	【共催】フォレスタコンサート in 春日井		
ミッション	2 鑑賞－みせる		
日時	5/26（土）14:00～16:00		
会場	市民会館		
出演	フォレスタ（男女混声コーラスグループ）		
入場料等	5,500 円		
入場者数	963 名【完売】	入場率	98.7%
		自主財源比率	1,034.0%
収入	522,400 円	助成金	—
		支出	50,520 円
事業内容	「BS 日本・こころの歌」で大人気を博している、実力派コーラスグループ「フォレスタ」。市民合唱団の活動が盛んなこの地域において、声楽のプロたちによる名曲の数々を聴く機会を提供し、唱歌・抒情詩、歌謡曲の魅力を改めて感じていただくコンサート。		
成果	一般発売日から 1 週間待たずして完売となり、中高年層からの根強い人気ぶりを伺わせた。春日井公演は全国ツアーの最終日でもあったため、各地から熱心なファンが押し寄せメンバーを労うなど、盛り上がりを見せていた。		
備考	共催／有限会社ミュージックフィールド		

事業名	【共催】山下洋輔スペシャル・ビッグバンド・コンサート 2018		
ミッション	2 鑑賞－みせる		
日時	6/24（日）16:30～18:30		
会場	市民会館		
出演	山下洋輔スペシャル・ビッグバンド		
入場料等	6,500 円、U-25（25 歳以下）3,000 円		
入場者数	792 名	入場率	82.7%
		自主財源比率	124.2%
収入	723,874 円	助成金	—
		支出	583,003 円
事業内容	2008 年より 2 年ごとに開催している山下洋輔率いるスペシャル・ビッグバンドの公演。6 回目となる今回は、来年結成 50 周年を迎える「山下洋輔トリオ」の楽曲を組曲に構成した「組曲 山下洋輔トリオ」を見どころとしたコンサート。		
成果	隔年開催を楽しみにしてくれる、熱心なファンがいる公演である。来年の山下洋輔トリオ結成 50 周年を目前に編曲された「組曲 山下洋輔トリオ」、「脱臼したボレロ」と評されるラベルの「ボレロ」などが熱狂的に演奏された。この公演で初めて、文化フォーラム春日井内にあるカフェ「アトリエ コーヴォ」の珈琲をロビーで販売。ジャズ好きのファンに好評を博し、持参した 5 リットルを完売した。		
備考	共催／有限会社プラネットアーツ		

事業名	松竹大歌舞伎		
ミッション	2 鑑賞－みせる		
日時	7/16（月・祝） 昼の部 12:00～14:55（968名入場） 夕方の部 16:30～19:25（910名入場）		
会場	市民会館		
出演	尾上菊之助、坂東彦三郎、中村梅枝、中村萬太郎、中村米吉、市村橋太郎、市川團蔵 ほか		
入場料等	昼の部：S席 7,500円、A席 5,500円、B席 3,500円 夕方の部：S席 7,000円、A席 5,000円、B席 3,000円、青少年鑑賞サポート 500円（32名）		
入場者数	1,878名	入場率	94.5%
		自主財源比率	120.3%
収入	11,941,213円	助成金	—
		支出	9,926,045円
事業内容	市民会館の夏の風物詩である歌舞伎公演。今回は、現代の歌舞伎を担う若手スターの一人、尾上菊之助をはじめ、中村梅枝、ワキの名手と言われる市川團蔵、坂東彦三郎ら立役者が演じた。2つの舞踊と、七五調が特徴の物語は、リズムカルで明るく、会場は盛り上がった。		
成果	公演自体の賑わいはもちろん、地元の方々が歌舞伎の演目にちなんで作ってくださる様々な商品をロビーで販売し、全体として活気のある催しとなった。教育的視点から実施している青少年鑑賞サポートプログラムの参加者数は昨年同様に多く、日本の伝統文化に親しむ機会を作ることができた。青少年のほとんどは初歌舞伎体験であり、演目解説も好評を得た。関連企画の「歌舞伎ソムリエの直前解説」は定員を60から80席へ増席したところ、弁当の回は完売した。		
関連企画	（1）葛西聖司の極付！歌舞伎セミナー 6/29（金）13:30～15:00 市民会館 入場料：500円 ※春日井市民会館開催「松竹大歌舞伎」チケット提示で無料入場 入場者数 442名 講師：葛西聖司（伝統芸能解説者、元NHKアナウンサー） （2）歌舞伎ソムリエの直前解説 7/16（月・祝）①弁当付解説 10:30～11:30 ②スイーツ付解説 15:00～16:00 視聴覚ホール 入場料：①2,000円 ②1,500円 参加者数 ①82名 ②70名 講師：おくだ健太郎（歌舞伎ソムリエ） （3）小学生・中学生・高校生向け演目解説 7/16（月・祝）16:00～16:15 会議室 入場無料 参加者数 51名 講師：小松淳子（事業推進グループ プロデューサー）		
備考			

事業名	日生劇場ファミリーフェスティバル 2018 物語付きクラシックコンサート アラジンと魔法のランプ		
ミッション	2 鑑賞－みせる		
日時	8/25（土）①11:00～13:10（882名入場） ②15:00～17:10（693名入場）		
会場	市民会館		
出演	大井剛史（指揮）、愛知室内オーケストラ、工藤広夢、与那城敬、三宅理恵、小関明久、金子あい、宮谷理香、加藤昌則、湯川健介		
入場料等	一般：3,000円 子ども（中学生以下）：1,500円		
入場者数	1,575名	入場率	82.8%
収入	3,317,195円	助成金	—
		自主財源比率	67.2%
事業内容	親子向けのクラシックコンサート。ピアノやオーケストラ、作曲家についての知識や、オペラ・ダンスなどの多彩な演出が盛り込まれたオリジナルの物語を、「アラジンと魔法のランプ」のキャラクターが案内。		
成果	登場人物たちによる楽しい解説があり、子どもたちの笑い声や歓声に包まれた。30～40代の来場者も多く、夏休みに親子が一緒に楽しめる本格的なコンサートを提供できた。		
備考	主催／公益財団法人ニッセイ文化振興財団（日生劇場） 共催／愛知県芸術劇場 助成／文化庁文化振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）		

事業名	市制 75 周年記念 南野陽子&葛西聖司 伝統芸能の魅力発見！～にっぽんの楽器・弾き物編～		
ミッション	1 創造－つくる		
日時	9/29（土）15:00～17:20		
会場	市民会館		
出演	南野陽子（司会）、葛西聖司（司会・解説）、内藤美和（箏・二十五絃箏）、岩田卓也（尺八）、長須与佳（薩摩琵琶）、木場大輔（胡弓）、足立知謙（ピアノ）、馬場淳史（津軽三味線）、芳村伊十治郎連中（長唄）、若獅子会（囃子）、花柳寿美蔵（日本舞踊）		
入場料等	4,000円、青少年鑑賞サポート 500円（5名）		
入場者数	479名	入場率	51.6%
収入	1,292,499円	助成金	—
		自主財源比率	21.4%
事業内容	女優・南野陽子と元 NHK アナウンサーで古典芸能解説者の葛西聖司が、日本の伝統楽器の中から“弾き物”と言われる弦楽器の魅力を、将来を嘱望される若手演奏家たちの生演奏で紹介する、かすがい市民文化財団プロデュースの公演。南野陽子が春日井の民話朗読や愛知県ゆかりの着物の紹介も行った。		
成果	普段あまり聴く機会の無い薩摩琵琶や胡弓などの演奏、そして豪華な着物の共演に、来場者の満足度は非常に高かった。「のだめカンタービレの音楽会」に続き、他館でも公演できる当財団オリジナルの創作となった。		
備考	協力／一般財団法人民族衣裳文化普及協会		

事業名	柳家小三治独演会		
ミッション	2 鑑賞－みせる		
日時	10/13（土）14:00～16:00		
会場	市民会館		
出演	柳家小三治、柳家三之助		
入場料等	S 席 4,500 円、A 席 3,000 円、青少年鑑賞サポート 500 円（18 名）		
入場者数	977 名【完売】	入 場 率	98.2%
収 入	3,912,284 円	助 成 金	—
		自主財源比率	146.4%
事業内容	2014 年から落語協会顧問を務めつつ、重要無形文化財保持者（人間国宝）となった 10 代目・柳家小三治による独演会。		
成 果	淡々とした語り口で子どもの頃の趣味を語っていたかと思えば、いつの間にかネタに入る、という名人ならではの話芸で、古典落語『野ざらし』と『粗忽長屋』の二席を演じ、「マクラの小三治」ならではの独特の雰囲気会で会場を沸かせた。前座は柳家三之助が務めた。落語ファンならば一度は見ておきたい落語界の重鎮による至高の話芸を届けることができた。		
備 考			

事業名	OKB 大垣共立銀行 presents 春日井まつり前夜祭 山崎まさよし ～Yamazaki Masayoshi String Quartet “BANQUET” ～		
ミッション	2 鑑賞－みせる		
日時	10/19（金）18:30～21:20		
会場	市民会館		
出演	山崎まさよし		
入場料等	一般 7,500 円		
入場者数	909 名	入 場 率	95.5%
収 入	6,954,914 円	助 成 金	—
		自主財源比率	99.1%
事業内容	春日井まつり実行委員会から業務を請け負っている「春日井まつり前夜祭」。今年は、「One more time, One more chance」など数多くのヒット曲を持つ山崎まさよしのコンサート。3 年ぶりに行われるカルテットとの共演ツアーで、山崎まさよしに加え、弦楽四重奏が折り重なるスペシャル編成でのライブを実施した。		
成 果	主なファン層が若いアーティストを起用したことで、これまでと異なる年齢層に春日井まつり前夜祭のコンサートを届けることができた。		
備 考			

事業名	花形狂言 2018 真夏の狂言大作戦！		
ミッション	2 鑑賞－みせる		
日時	8/19（日）15:00～16:20		
会場	東部市民センター		
出演	茂山千五郎、茂山宗彦、茂山茂、茂山逸平、茂山童司、ほか		
入場料等	一般：3,500 円、青少年鑑賞サポート 500 円（27 名）		
入場者数	421 名	入 場 率	89.6%
		自主財源比率	81.1%
収 入	1,327,012 円	助 成 金	60,093 円
		支 出	1,710,437 円
事業内容	京都・大蔵流の茂山千五郎家の若手 5 人によるユニット HANAGATA による狂言公演。確かな狂言の技法を土台にした、自由で軽やかな舞台で古典芸能の魅力を伝える。		
成 果	古典の名作「蝸牛」だけでなく、新作狂言など親しみやすい演目で、多くの来場者を魅了した。2 回目の開催ということもあり、リピーターの来場も多く、花形狂言の開催を喜ぶ声が聞こえた。また、普段は狂言を観る機会が少ない青少年にも多く鑑賞していただけた。		
備 考	協賛／サンマルシェ 助成／文化庁文化振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）		

事業名	こまつ座「母と暮せば」		
ミッション	2 鑑賞－みせる		
日時	12/1（日）14:00～15:30		
会場	東部市民センター		
出演	富田靖子、松下洸平		
入場料等	5,000 円、青少年鑑賞サポート 500 円（27 名）		
入場者数	462 名	入 場 率	94.7%
		自主財源比率	55.0%
収 入	1,919,901 円	助 成 金	762,967 円
		支 出	4,881,078 円
事業内容	日本を代表する作家・劇作家の井上ひさしが遺した作品を、良質で安定感のある演出と、注目を集める俳優のキャスティングで上演を続ける劇団こまつ座 3 年ぶりの春日井公演。同劇団の代表作『父と暮せば』と対になる最新作。		
成 果	市内外からこまつ座の演劇を楽しみにしている来場者が訪れた。出演者二人の軽妙ながらも熱のこもった演技に、会場からは笑いとしずり泣きの声が聴こえ、アンケートの満足度からも上質な演劇作品を提供できたことがわかった。また、来場した中高演劇部には終演後も客席に残ってもらい、プロの舞台仕事現場を見学してもらう時間を提供した。		
備 考	協賛／サンマルシェ 助成／文化庁文化振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）		

事業名	かすがい芸術劇場		
ミッション	2 鑑賞－みせる		
会場	視聴覚ホール		
入場料等	(1) 2,800 円 (2) 2,300 円、青少年鑑賞サポート 500 円 (12 名)		
入場者数	計 345 名	入 場 率	78.8% 自主財源比率 71.2%
収 入	759,672 円	助 成 金	— 支 出 1,067,276 円
事業内容	今後の活躍が期待されるアーティストを紹介し、間近で生の舞台を体験してもらう公演シリーズ。第 87 回は、講談界に 100 年ぶりの新風を起こした講談師・神田松之丞を迎えて独演会を開催。第 88 回は劇作家・井上ひさしの代表作を、人形劇で味わう昼夜公演。子ども向けという印象が強い人形劇を、大人も楽しめる作品として上演することで、幅広い世代に鑑賞機会を提供する。 (1) 4/22 (日) 第 87 回「神田松之丞独演会」190 名【完売】 (2) 8/10 (日) 第 88 回 人形劇団むすび座「父と暮せば」 ①14:00～15:50 (98 名入場)、②19:00～20:50 (57 名入場)		
成 果	(1) チケットは一般発売初日に完売。誰でも楽しめる演目を 3 席披露し、会場からは終始笑いが絶えなかった。財団主催としては 10 年ぶりとなる講談会だったが、お客様から「また講談を聴きたい」というお声を多くいただき、満足度の高い公演となった。老若男女、幅広い客層に日本伝統の話芸を楽しむ機会を提供できた。 (2) 人形劇を鑑賞する機会がなかった方に多く来場していただけた。終演後、来場者は作り込まれた家屋のセットや小道具を間近で見たり、劇団員に質問して人形の動きを見せてもらったり、客席が近い「かすがい芸術劇場」ならではの交流が生まれていた。		
備 考			

事業名	かすがい日曜シネマ		
ミッション	2 鑑賞－みせる		
会場	視聴覚ホール（定員 144 名）、（5）のみ東部市民センター（定員 368 名）		
入場料等	前売 800 円、当日 1,000 円		
入場者数	計 1,664 名	入場率 65.8%	自主財源比率 115.9%
収入	1,233,915 円	助成金 —	支出 1,064,478 円
事業内容	舞台芸術や音楽をテーマとした良質なミニ・シアター系の映画を上映。上映前には職員によるミニ・トークを開催。市内ボランティア団体による音声ガイド付きの上映も行っている。 （1）5/20（日）第 67 回「タレントタイム 優しい歌」①133 名、②114 名、③24 名 （2）7/1（日）第 68 回「はじまりのボーイミーツガール」①94 名、②69 名、③18 名 （3）9/16（日）第 69 回「ゆらり」①98 名、②103 名、③21 名 （4）11/18（日）第 70 回「プラハのモーツァルト」①130 名、②139 名、③62 名 （5）1/27（日）第 71 回「輝ける人生」357 名 （6）3/10（日）第 72 回「すばらしき映画音楽たち」①136 名、②114 名、③52 名 各回共に①10:15～、②13:45～（音声ガイド付き上映）、③16:45～（5）のみ 13:30～		
成果	リピーターが多いが、作品によっては新規の来場者も多く、作品選定やミニ・トークも好評である。1 月には初めて東部市民センターで上映を実施。前売はほぼ完売し、売り止めしていた席を当日券として販売した。東部市民センターでの上映を以前から希望していた方や、初めて参加したという人からも熱烈的な歓迎を受けた。		
備考	協力／ボイスケイン、ボイスくら		

事業名	昼コン&夜コン&はじめての音楽会		
ミッション	3 普及啓発－ひろがる		
会場	交流アトリウム		
入場料等	無料		
入場者数	計 3,090 人	入場率 —	自主財源比率 69.9%
収入	189,155 円（寄附金）	助成金 391,047 円	支出 829,874 円
事業内容	お喋りを交えた気軽に聴ける無料コンサート。月 2 回、土曜日の昼と金曜日の夜に開催。子どもと一緒に生の音楽を聴く経験ができる「はじめての音楽会」も実施。クラシックだけではなく、ポップスなど幅広い曲を演奏し、音楽の楽しさを伝える。 （1）4/14（土）14:00～15:00 第 217 回「春に色づく五つの華」 入場者数：250 名 出演：Full Brass Five 福岡詩織、筒井奏子（トランペット）、三宅由花（ホルン）、太田尚美（トロンボーン）、荒木衣里奈（チューバ） （2）4/27（金）19:00～20:00 第 218 回「音楽と詩の夕べ」 入場者数：150 名 出演：コトダマ×オトダマユニット妄想会議 所克頼、竹内幸枝（サクソフォン）、白樺八青（ボイスパフォーマンス）		

	(3) 5/12 (土) 14:00～15:00 第219回「音のパレット」 入場者数：320名 出演：大澤愛衣子 (ヴァイオリン)、三谷野絵 (チェロ) (4) 5/18 (金) 19:00～20:00 第220回「虹色の薔薇～3人の無限への可能性～」 入場者数：110名 出演：P-T-Bone 福田良正 (トロンボーン)、藤田浩平 (トランペット)、西濱由有 (ピアノ) (5) 6/2 (土) 14:00～15:00 第221回「中部フィル・ホルンセクションによるでんでん虫コンサート」 入場者数：300名 出演：舟橋知奈美、古川愛、森隆一郎、山下奈緒美 (ホルン) (6) 6/29 (金) 19:00～20:00 第222回「悠久の響き一箏・尺八の音色一」 入場者数：210名 出演：日原暢子 (箏・二十五絃箏)、伊藤韻盟 (尺八) (7) 9/15 (土) 14:00～15:00 第223回「歌で楽しむブラジリアン・ジャズの世界」 入場者数：230名 出演：中垣あかね (ボーカル)、餌取雄一郎 (トロンボーン)、伊藤寛哲 (ギター)、飛騨勇也 (ベース) (8) 9/28 (金) 19:00～20:00 第224回「とっておきのクラシカル・サクソフォン」 入場者数：120名 出演：石川貴憲 (サクソフォン)、丸尾祐嗣 (ピアノ) (9) 10/12 (金) 19:00～20:00 第225回「心癒される、至福のアコースティック」 入場者数：200名 出演：吉田絵奈 (鍵盤ハーモニカ)、木須康一 (ピアノ) (10) 10/27 (土) 14:00～15:00 第226回「時代を追って愉しむ華麗なる響き」 入場者数：220名 出演：小玉裕美、友田友梨 (ヴァイオリン)、良盛礼 (ピアノ) (11) 11/10 (土) 10:30～11:15 親子のためのはじめての音楽会「親子でカラフルクラシック」 入場者数：340名 出演：Colors 足立真里那 (サクソフォン)、高橋沙紀 (トランペット)、山部里恵 (ヴァイオリン)、奈浦奈穂 (ピアノ) (12) 11/10 (土) 14:00～15:00 第227回「秋色のメロディ」 入場者数：300名 出演：Colors 足立真里那 (サクソフォン)、高橋沙紀 (トランペット)、山部里恵 (ヴァイオリン)、奈浦奈穂 (ピアノ) (13) 11/16 (金) 19:00～20:00 第228回「ギター1本で広がる世界」 入場者数：340名 出演：井草聖二 (ギター)
成 果	今年度で15年目を迎えたコンサートは、実力派から春日井市にゆかりのある演奏家と様々な出演者の演奏を聴く機会を提供できた。また、第221回は同一楽器のみ、第222回は和楽器という珍しい編成、第223回は人気の高いジャズ、第225回は普段聴く機会の少ない鍵盤ハーモニカの演奏を楽しんでいただいた。第228回には、ギタリストの井草氏のコンサートを夜コンで開催し、300人を超える入場者数を記録した。また、関連企画として開催した「はじめての音楽会」は今年度で3回目を迎え、300人を超える入場者となり、子ども向けコンサートのニーズが高いことが分かった。
備 考	助成／文化庁文化振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）

事業名	若手音楽家支援事業 ワンコインコンサート		
ミッション	6 人材育成－はぐくむ		
会場	視聴覚ホール		
入場料等	500 円		
入場者数	計 417 名	入 場 率	70.2%
		自主財源比率	41.5%
収 入	66,822 円	助 成 金	—
		支 出	161,058 円
事業内容	地域に根差した音楽家を育てることを目的に、若手音楽家を 3 年間にわたり活動支援するプログラム。活動 1 年目は、各グループが 1 回ずつワンコインコンサートを実施した（内 1 組は 29 年度中に実施済み）。 （1） 6 / 1 （金） 19:00～20:30 第 2 回ワンコインコンサート「Trio Primavera」 入場者数：126 名 出演：Trio Primavera 林里紗（フルト）、蒔田裕也（ピアノ・アレンジ）、小笠原歌歩（オボエ） （2） 9 / 22 （土） 13:30～15:00 第 3 回ワンコインコンサート「Lune」 入場者数：106 名 出演：Lune 伊藤美佳里（クラリネット）、足立真里那（サクソフォン）、耕作彦充（ピアノ） （3） 1 / 26 （土） 10:30～12:00 第 4 回ワンコインコンサート「Shiki's Friends」 入場者数：185 名【満席】※3 歳未満無料 出演：Shiki's Friends 詩貴（マリンバ）、鈴木豊大（パーカッション）、太田紗耶香（ピアノ）		
成 果	財団のネットワークだけではなく、若手音楽家自身にも積極的に広報活動をしてもらうなど、財団と音楽家が協同で作上げたコンサートは、いずれもグループの個性が際立つコンサートとなった。来場者からも、地元の若手音楽家を応援する激励のコメントが多く寄せられ、2 年目のアウトリーチ活動への足掛かりとなった。		
備 考	18,366 円（寄附金）		

事業名	演劇×自分史 カスガイ創造プロジェクト		
ミッション	1 創造—つくる		
講師	有門正太郎（俳優）		
入場料等	一般 500 円、青少年鑑賞サポート無料（8 名）		
参加者数	計 683 名	入 場 率	98.9%
		自主財源比率	53.6%
収 入	217,968 円	助 成 金	1,457,000 円
		支 出	3,125,226 円
事業内容	“演劇を使って自分史で遊ぶ”をコンセプトに、3 年間かけて、自分史を様々な角度から見つめ、その成果を市民とともに演劇作品として発表していく。2 年目は、演劇の「演ずる」という観点を重視し、「演劇×自分史」初の 2 回公演に挑戦した。 （1）【演劇×自分史】ワークショップ 会議室、視聴覚ホール 10/11（木）、12（金）、11/11（日）、25（日）、12/7（金）、8（土）、14（金）、15（土）、1/11（金）、12（土）、13（日）、18（金）、19（土）、20（日）、2/7（木）、8（金）、9（土）〔平日〕18:00～21:00・〔土日祝〕13:00～17:00〕17 日間開催 参加料：一般 5,000 円、高校生以下 1,000 円 参加者数 19 名 アシスタント 2 名 稽古場見学者 31 名 写真撮影アシスタント 4 名（2 日間） （2）【演劇×自分史】第 2 弾公演「旅旅（ふたたび）」 視聴覚ホール 2/10（日）①11:00～12:10（135 名入場）、②14:00～15:10（132 名入場） 入場料：一般 500 円、高校生以下無料 参加者数 18 名 アシスタント 2 名 入場者総数 267 名		
成 果	演劇×自分史の公演は 2 回とも満員御礼で、盛況のもと幕を閉じた。19 名の市民参加者は 17 日間の自分の人生を見つめ直すワークショップを通じて「記憶の奥底に眠っていたエピソードを思い出した」など、自分史を身近に感じてもらうことができ、結果として 3 名が自分史サークルへ加入した。参加者の記憶やエピソードが散りばめられた脚本は、他者への想像力を駆り立て、地域の知的コミュニティ形成の一助となった。入場者からも「自分史を読んでみたい」などの声が寄せられ、自分史に興味を持っていただくきっかけ作りとなった。また、東海地区を中心に活動しているアーティストに、地域交流プログラムや「演劇×自分史」の作品創作に携わってもらい、地元で活躍できる環境づくりとスキル向上の機会を提供できた。		
備 考	助成／一般財団法人地域創造 平成 30 年度地域の文化・芸術活動助成事業		

事業名	茂木大輔の生で聴く“のだめカンタービレ”の音楽会 全国ツアー		
ミッション	1 創造—つくる		
日時 会場	(1) オーケストラ版 ① 7/28 (土) 14:00～16:30 調布市グリーンホール 大ホール ② 8/4 (土)、③ 5 (日) 15:00～17:30 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール ④ 9/22 (土) 15:00～17:30 ウェスタ川越 大ホール ⑤ 1/12 (土) 15:00～17:30 上田市交流文化芸術センター (サントミュージゼ) 大ホール (2) ピアノ版 ① 8/17 (金) 13:00～15:00 ② 19:00～21:00 上田市交流文化芸術センター (サントミュージゼ) 小ホール		
出演	茂木大輔 (指揮)、高橋多佳子 (ピアノ) ほか		
入場料等	—		
入場者数	6,409 名	入場率	—
収入	768,000 円	助成金	—
		自主財源比率	1,093.5%
事業内容	平成 18 年から続く、春日井発「のだめ音楽会」の全国ツアー。舞台監督、映像作成・オペレータを当財団職員で行っている。これまでに 97 公演、延べ 141,393 名動員。(ピアノ版除く)		
成果	各地のホールと連携ができ、お客様にも喜んでいただけた。各ホールの要望をヒアリングしながら、地域にあわせたプログラムを提供できた。		
備考	企画／茂木大輔、公益財団法人かすがい市民文化財団		

事業名	財団サポーター2018		
ミッション	4 地域コミュニティ形成—つながる		
参加者数	計 317 人	入場率	—
収入	54,000 円	助成金	—
		自主財源比率	54.3%
事業内容	来場者をもてなすボランティアとして、当財団の自主文化事業に参加。また、当財団の良き理解者・支援者を増やしていく側面もある。		
実績	活動公演数 28 回／展覧会数 2 回／研修等 3 回／登録人数 40 人		
成果	今年の新規登録者は 5 名。研修にも積極的に参加していただき、お客様からも「いつも温かい雰囲気を出迎えてくれる」と好評を得ている。登録者からは、「毎年、歌舞伎に全力を注いでいる」「春日井では良い公演をやっていると友達に伝えている」「芸術への興味が広がった」などの声が聞こえた。今年で 15 年目ということもあり、財団の良き理解者、支援者として繋がりがしっかりできていると実感できた。		
備考			

(4) アウトリーチ事業

事業名	アウトリーチ事業「かすがい どこでも アート・ドア」		
ミッション	3 普及啓発ーひろがる 6 人材育成ーはぐくむ		
入場料等	無料		
参加者数	計 653 名	入 場 率	— 自主財源比率 8.0%
収 入	—	助 成 金	26,578 円 支 出 334,260 円
事業内容	各ジャンルのアーティストを市内の小中学校に派遣し、演奏やワークショップを通して「特別なアートの時間」を届ける事業。文化・芸術を身近に体験する機会を提供した。 (1) 演劇／講師：有門正太郎（俳優） 参加者数 各回 30 名、計 90 名 5/22（火）13:00～18:00、23（水）・24（木）16:00～18:00 春日井高等学校演劇部 (2) 文芸／講師：鈴掛真（歌人） 参加者数 110 名 ① 7/6（金）高森台中学校 2 年生 1 組 2 限 ② “ 2 年生 2 組 3 限 ③ “ 2 年生 3 組 4 限 (3) 美術／講師：富永敏博（美術作家） 参加者数 117 名 ① 7/19（木）東野小学校 6 年生 1 組 1, 2 限 ② “ 6 年生 2 組 3, 4 限 ③ 11/21（水）東野小学校 5 年生 1 組 1, 2 限 ④ “ 5 年生 2 組 3, 4 限 (4) 音楽／講師：井草聖二（ギタリスト） 参加者数 312 名 ① 11/16（金）南城中学校 3 年生 6 限 (5) ダンス／講師：服部哲郎（ダンサー） 参加者数 24 名 ① 2/19（火）日曜シネマ「輝ける人生」来場者対象 14:00～15:30 東部市民センター第 1 軽運動室		
成 果	各アーティストはいずれもアウトリーチに定評がある。演劇、文芸、美術、音楽と幅広いジャンルに取り組み、学校側の満足度は非常に高いものとなった。今年度、部活支援の一つとして、高校演劇部への派遣を初めて開催した。参加した高校生からは「演劇の可能性を強く感じました」と心強い声を聞くことができた。また、「演劇×自分史プロジェクト」にアシスタントとして関わった服部哲郎氏のダンス講座を初めて行ったが、大変好評で継続を望む声も多く、次年度以降に検討したい。		
備 考	助成／文化庁文化振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）		

(5) 施設サービス系事業

事業名	かすがい文化フェスティバル		
ミッション	3 普及啓発ーひろがる 4 地域コミュニティ形成ーつながる		
会場	文芸館、市民会館、屋外広場		
参加者数	計 1,037 名	入場率	—
		自主財源比率	11.8%
収入	53,500 円	助成金	35,412 円
		支出	751,981 円
事業内容	7 月最後の日曜日と 8 月の毎週木曜日に、子ども向けのワークショップを実施。初日はスペシャルデイと称して、工作や書道、和楽器等の伝統文化を小学生に教えた。8 月の毎週木曜日は市内外で活動するアーティストを講師に、未就学児でも参加できるワークショップや親子で参加できる劇場バックステージツアーを開催。またストップモーション技法を使った芸術性の高いアニメーション映画を野外で鑑賞する映画会も実施。 (1) スペシャルデイ 7/29 (日) 参加者数 363 名 ① オープニングコンサート 出演：Saxophone Ensemble BULLーブルー ② 14 講座 28 回 ①10:15～ ②11:15～ ③13:00～ ④14:00～ 無料～500 円 講師：春日井市文化協会の 12 団体、春日井市美術協会の 2 団体 (2) ワークショップ 交流アトリウム、会議室 (8/30 のみ) ① 「親子で作ろう！はさみ切り絵」 8/2 (木) 14:00～ 参加料：300 円 参加者数 19 名 講師：なつめみちる (はさみ切り絵作家) ② 「手のひらスタンプで絵を描こう！」 8/9 (木) 13:00～17:00 参加無料 参加者数 199 名 講師：かすがい市民文化財団スタッフ ③ 「親子で挑戦！謎解きゲーム in 市民会館」 8/15 (水) ①10:00～ ②13:00～ ③15:00～ 参加無料 参加者数 85 名 講師：かすがい市民文化財団スタッフ ④ 「はじめての将棋体験！」 8/23 (木) 14:00～17:00 参加無料 参加者数 26 名 講師：室田伊緒女流二段 (春日井広報大使) ⑤ 「みんなで巨大すごろくを作ろう！」 8/30 (木) 14:00～17:00 参加無料 参加者数 20 名 講師：岡本理沙 (俳優) (3) 夕涼みシネマ「KUBO 二本の弦の秘密」 8/18 (土) 19:00～20:45 屋外広場 入場無料 参加者数 325 名		
成果	申込方法を Web 応募フォーム形式にし、抽選結果発表も番号発表方式にしたため事務作業を簡便化できた。スペシャルデイ、8 月のワークショップ共に、親子参加の講座や未就学児から参加できるワークショップなど、様々な参加形態を設けた結果、好評を得た。		
備考	協力／日本将棋連盟春日井支部、3 BLOCKS POPCORN 助成／文化庁文化振興費補助金 (劇場・音楽堂等機能強化推進事業)		

事業名	スタインウェイピアノ開放します！		
ミッション	3 普及啓発－ひろがる		
日時	8/11（土・祝）・12（日） 8:45～17:15 の内、1 団体 60 分×14 枠 10/16（火）・17（水） 12:30～21:00 の内、1 団体 60 分×14 枠		
会場	市民会館		
参加者	公募による抽選で選ばれた市民		
入場料等	利用料 1,000 円、録音サービス料 500 円		
参加者数	計 222 名	入場率	— 自主財源比率 76.4%
収入	33,000 円	助成金	— 支出 43,200 円
事業内容	市民会館のスタインウェイピアノを、ホールを貸し切って 1 時間自由に弾ける企画。毎年好評をいただいております、今年度は 8 月と 10 月の 2 回開催。		
成果	8 月に 66 組、10 月に 31 組の応募があり、抽選で選ばれた合計 28 組の家族や友人たちが、練習や撮影、家族コンサートなど、参加者それぞれの方法でピアノとの時間を楽しんだ。今年度は客席に 80 人ほどの仲間が集まり、ピアノの演奏に合わせ合唱するといった場面もあり、貸し切りだからこそできる感動を提供できた。		
備考			

事業名	【共催】かすがい人形劇フェスティバル 2018		
ミッション	5 活動支援－ささえる		
日時	12/9（日）①10:00～11:50（149 名入場） ②14:00～15:50（185 名入場） ③12:00～13:50（作って遊ぼうコーナー、紙芝居ライブ）		
会場	視聴覚ホール、交流アトリウム（作って遊ぼうコーナー、紙芝居ライブ）		
出演	①人形劇団じゃん・けん・ぼん、愛知県立大学人形劇サークルとびねこ、おしゃべり劇場ぽっけ、人形劇団パン ②人形劇団とんとんとん、人形劇団よろずや〇、中部大学子育てすすく隊、人形劇団むすび座 ③くれよんの会、さくらぶんこ、マーガレット一家・紙芝居のたっちゃん		
入場料等	①②前売 おとな 1,000 円、こども 500 円、一日券おとな 1,700 円、こども 800 円 当日 おとな 1,200 円、こども 600 円 ③無料		
入場者数	計 334 名	入場率	— 自主財源比率 —
収入	—	助成金	— 支出 —
事業内容	市内外のアマチュア及びプロの人形劇団が合同で公演を行った。また、午前午後の合間には交流アトリウムで工作コーナーや紙芝居の上演を行った。		
成果	今年は腹話術のおしゃべり劇場ぽっけが初参加し、来場者は興味深げに鑑賞していた。また、中部大学子育てすすく隊が初めてパネルシアターを披露し、活躍が期待できる内容となった。交流アトリウム恒例の工作コーナーに加え、紙芝居のたっちゃんが紙芝居を披露。文芸館が人形劇フェスティバルを楽しむ親子であふれた一日となった。		
備考	主催／愛知県人形劇協会、かすがい人形劇フェスティバル実行委員会		

事業名	【共催】第26回春日井市高等学校吹奏楽フェスティバル				
ミッション	5 活動支援—ささえる				
日時	12/23（日・祝）14:00～16:20				
会場	総合体育館				
出演	春日井高校、春日井西高校、春日井南高校、春日井東高校、春日井商業高校、高蔵寺高校、中部大学春日丘高校 各吹奏楽部				
入場料等	無料				
入場者数	649 名	入 場 率	—	自主財源比率	—
収 入	—	助 成 金	—	支 出	—
事業内容	春日井市内の7高校の吹奏楽部が一堂に会し、学校の垣根を越えてステージに上がり熱演を繰り広げる、全国的にも珍しい演奏会。今年度は市民会館の改修により総合体育館にて開催した。				
成 果	各高校の生徒から選出された「吹奏楽フェスティバル実行委員会」が主体となり、当財団が様々な視点からの制作レクチャーを行い、連携して実施した。学校の垣根を越えて協力し合い、市民会館公演にはない体育館の大きな空間を活かした特別プログラムを組んだ本公演は、大盛況であった。				
備 考	主催／春日井市高等学校吹奏楽協議会（幹事校／春日井高等学校）				

事業名	【共催】とっておきのクリスマスコンサート				
ミッション	5 活動支援—ささえる				
日時	12/23（日・祝）17：30～19：15				
会場	交流アトリウム				
出演	春日井児童合唱団				
入場料等	無料				
入場者数	403 名	入 場 率	—	自主財源比率	—
収 入	—	助 成 金	—	支 出	—
事業内容	春日井児童合唱団による毎年恒例のクリスマスコンサート。ジュニア、シニアに加え、成人した合唱団 OB・OG も出演し、交流アトリウムでクリスマスソングを歌う。				
成 果	ステージの飾りつけや客席づくりを合唱団の子どもたちと共同で行い、公演の円滑な運営を支援できた。毎年同日に実施している吹奏楽フェスティバルを、今年は市民会館が改修工事期間中のため総合体育館で行ったが、集客に影響はなく、大勢の方に楽しんでもらえた。				
備 考	主催／春日井児童合唱団				

事業名	舞台制作セミナー		
ミッション	5 活動支援－ささえる		
会場	視聴覚ホール		
受講料等	無料		
受講者数	計 46 名	入 場 率	—
収 入	—	助 成 金	—
事業内容	春日井市内の吹奏楽部と演劇部を対象に、照明・音響・舞台技術の基礎知識を伝えるセミナー。吹奏楽版では公演で応用できる演出方法とその作り方について指導した。演劇版では自主事業で使った舞台を見ながら、完成までの製作過程について指導した。 (1) 高校吹奏楽版 1/26 (土) 17:00～19:00 受講者数 28 名 (春日井高校、春日井西高校、春日井東高校、春日井南高校、春日井商業高校、高蔵寺高校) (2) 高校演劇版 2/11 (月・祝) 9:15～11:00 受講者数 18 名 (春日井高校)		
成 果	吹奏楽版、演劇版ともに昨年を上回る参加者数となった。高校演劇版では、実際に使った舞台や大道具、照明、音響を見ながら、その製作過程をより具体的に伝えることができた。吹奏楽版、演劇版とも、受講者は財団スタッフに積極的に質問をしながら熱心に学んでいた。		
備 考			

事業名	アトリウム音楽祭		
ミッション	5 活動支援—ささえる		
会場	交流アトリウム		
入場料等	無料、参加料は運営協力費として1団体5,000円		
入場者数	計1,940名	入場率	— 自主財源比率 101.9%
収入	155,000円	助成金	— 支出 152,060円
事業内容	市民参加型の音楽発表会。市内外で活動しているアマチュア音楽団体が日頃の成果を発表。 (1) [秋] 9/8 (土) 10:00~16:45、9 (日) 10:00~17:45 出演者15団体(295名)、入場者数811名 琴古流尺八長月会、唱歌の会、オカリナ・スプリング・ウェル、鷺伸吟詠会 東尾張支部、Puanani Aloha、和楽器アンサンブル「みずほ」、ムジカアコーディオンアンサンブル、混声ふるさと、Mál a carte、あけぼの合唱団、フルール、春日井ウィメンズブラス、春日井市能楽連盟、右高ファミリーとおともだち、八吹 (2) [春] 3/2 (土)、3 (日) 10:00~17:45 出演者16団体(357名) 入場者数1,129名 琴修会春日井支部玉川教室、マカナニ フラ スタジオ、現代邦楽会・春日井、津軽三味線 響、ハーモニーグリーングラス、春日井ゴスペルクワイア、Kahawainani Hula Halau、子育て支援団体あんじゅ ママコーラス&アンサンブル、コーラス「萌」、ウクレレユニット・レインボーガーデン、春日井カエル会、コーラス花の輪、ハーラウ・ワア・カウルア・ハアリ・マオヒ、オ・ジイサンズ、キッズダンス サークル、hoalimi Hula		
成果	和楽器から洋楽器、合唱にフラダンスなど、様々な音楽団体が舞台に立った。プロの司会者と音響スタッフがバックアップするため出演団体の満足度も高く、舞台と客席が共に楽しめるイベントとなった。		
備考			

(6) 広報系事業

事業名	広報宣伝事業		
収入	0 円	支出	1,527,812 円 自主財源比率 0%
事業内容	より多くの市民に当財団の活動を“認知・理解・支援”していただくために、広告掲載やパブリシティ活動により、新聞・テレビ・雑誌などの他社媒体への露出を図り、当財団及び事業のPRを行った。また、今年度より各事業の広報媒体（チラシ及びポスター等）のディレクションを広報で実施し、効率的かつ効果的な媒体制作に努めた。		
実績	《記事掲載》中日新聞 40 回、朝日新聞 8 回、毎日新聞 1 回、読売新聞 1 回、テレビ 1 回、ラジオ 2 回、ケーブルテレビ 11 回、雑誌タウン誌 25 回 《広告掲載》中日新聞朝刊 3 回（TV 面、近郊版、企画枠）、雑誌 1 回 《新聞折込》朝日新聞朝刊 1 回（市外近郊）		
成果	「山下洋輔スペシャル・ビッグバンド・コンサート」の山下洋輔氏と「演劇×自分史プロジェクト」の講師・有門正太郎氏の名古屋キャンペーンを実施。新聞やラジオで告知を行い、集客につなげた。各事業の広報媒体については、事業担当者とキックオフミーティングで情報共有に努め、効果的かつ魅力的な媒体を制作し、広く告知することができた。		
備考			

事業名	情報発信事業		
収入	128,000 円	支出	8,192,214 円 自主財源比率 1.6%
事業内容	自主事業を中心とした文化芸術情報及び施設に関する情報を誌面や HP、映像等の自社媒体で広く発信した。		
実績	(1) 情報誌「FORUM PRESS」発行 隔月 10,000 部、6 回発行 《FORUM PRESS レポーター》登録人数 17 名、活動公演数 18 回、研修等 6 回、参加人数延べ 104 名、誌面掲載記事 12 本、HP 掲載記事 57 本 (2) HP 運営 ・随時更新 ・レスポンス Web デザインへ変更・スマートフォン対応 《SNS 運営》・twitter フォロワー数 956 《春日井駅デジタルサイネージ用映像制作》 ・PR 情報：随時更新		
成果	財団発足以来、初めてとなる、独自の活動をまとめたパンフレットを制作した。写真や図、イラストなどを駆使し、財団の活動をわかりやすく説明できるものになった。今後もアップデートする状況をまとめ、発信していきたい。情報誌「FORUM PRESS」は引き続き、地域にまつわるコンテンツを充実させた。市民の声を反映する「FORUM PRESS レポーター」は新規参加もあり、随時活動を行っている。研修にはフィードバックを取り入れ、好評を得た。ホームページはスマートフォンで見やすいようレイアウトを変更し、利用者の利便性を向上した。また、平成 27 年度より道風記念館と連携して行っている“書のまち春日井” PR のための各自主事業と書にまつわるコラムを掲載したチラシは、来場者へ 3 回配布した（累計 19 回）。		
備考			

事業名 インフォメーション事業			
収 入	427,767 円	支 出	1,001,225 円 自主財源比率 42.7%
事業内容	文化情報プラザを拠点に、自主事業の情報提供及び市内外の文化芸術情報の提供を行っている。チケットの Web 販売は平成 28 年 2 月に導入した票券管理システムにより、コンビニエンスストアでの発券およびクレジットカード決済が可能になった。Web での購入方法を促すためにタブレットを導入し、文化情報プラザで操作説明を行っている。また、財団が行ってきた事業のチラシ等を全てファイリングし、市民の方にいつでも情報を見てもらえるように配慮している。交流アトリウムでは自主事業の映像での情報提供を随時行ったり、次年度の事業 PR として「のだめカンタービレの音楽会」の漫画やコンサート内容を掲示するスペースを作り、展示した。		
実 績	《文化情報プラザ運営》9:00～18:00 《チケット Web 販売数》2,147 件、4,390 枚、20,367 千円 《チケット入金明細》・カード決済 710 件 1,467 枚 ・セブンイレブン決済 465 件 848 枚 ・現金 3,884 件 7,491 枚 ・郵便振替 59 件 144 枚		
成 果	チケットの Web 販売は、市民会館が休館だったにも関わらず、昨年に比べ約 1.2 倍で、毎年徐々に増加している。		
備 考			

事業名 友の会事業			
収 入	2,548,854 円	支 出	1,593,599 円 自主財源比率 159.9%
事業内容	自主事業のチケット先行予約や割引など、各種優待サービスを受けられる有料の会員制度を平成 14 年度から継続して運営。昨年度と比べて会員数は対前年比 90.9%で推移している。提携ショップは 39 店舗加盟している。平成 28 年 2 月より Web のみチケット先行予約が可能な無料の Web 会員制度を導入。4,293 名が加入している。		
実 績	《友の会 PiPi 有料会員数》1,172 名 内、新規入会 237 名、更新 935 名 内訳：レギュラー会員（年会費 2,000 円）950 名、ゴールド会員（年会費 3,000 円）220 名、プラチナ会員（年会費 10,000 円）2 名 ※プラチナ会員は新規入会のみ受付停止 《無料 Web 会員数》4,293 名		
成 果	昨年度に引き続き、友の会の「松竹大歌舞伎」先行予約を、ハガキ抽選及び Web 先行という形で実施したところ、Web 予約が昨年より 1.2 倍に増え、会員の利便性が向上した。		
備 考			

2 受託文化事業

事業名	市制 75 周年記念 第 67 回春日井市民美術展覧会		
日時	8/25（土）～9/2（日）9:00～16:30（初日は10:00から、最終日は16:00まで）9日間開催		
会場	市庁舎、ギャラリー、視聴覚ホール		
入場料等	出品無料		
入場者数	11,384 名	入場率	—
受託料	4,660,908 円	助成金	—
自主財源比率	—		
支出	4,660,908 円		
事業内容	市内在住、在勤、在学者を対象とした公募美術展覧会。審査会員による参考作品も同時に展示。開会式及び表彰式を 8/25（土）に開催した。 応募／計 746 作品 日本画 38 作品、洋画 144 作品、書 254 作品、彫塑工芸 33 作品、写真 157 作品 委嘱作品 59 作品、参考作品 61 作品 賞／市長賞、市制 75 周年記念賞、財団理事長賞、教育委員会賞、市議会議長賞、観光コンベンション協会会長賞、奨励賞、委嘱特別賞		
成果	多くの市民に作品発表及び鑑賞の場を提供している。また、公開審査やギャラリートークを開催し、市民が美術作品への理解を深める機会を提供した。		
備考	主催／春日井市、春日井市教育委員会 後援／中日新聞社		

事業名	市制 75 周年記念 第 38 回春日井市短詩型文学祭		
日時	1/26（土）～2/11（月・祝）9:00～17:00 15日間開催		
会場	交流アトリウム		
入場料等	出品無料		
入場者数	2,480 名	入場率	—
受託料	1,371,475 円	助成金	—
自主財源比率	—		
支出	1,371,475 円		
事業内容	市内在住、在勤、在学者を対象として、文化活動の普及・振興を図ることを目的とした市民公募の文学祭。作品展では、特別賞受賞作品 54 作品と審査員、実行員による作品も同時に展示。表彰式を 2/3（日）に開催した。 応募／23,446 作品 入賞／726 作品 作品集／750 円 【一般の部】短歌、俳句、川柳、狂俳、詩 【小・中学生の部】短歌、俳句、川柳、詩 賞／市長賞、市制 75 周年記念賞、財団理事長賞、市議会議長賞、教育委員会賞、文化協会賞、秀逸、優秀（小・中学生のみ）、佳作		
成果	市民の文芸作品の発表作品と鑑賞の場を提供。応募作品数は昨年度より全体で 532 作品増加している。（一般+18 作品、小・中学生+514 作品）		
備考	主催／春日井市、春日井市教育委員会、春日井市文化協会		

3 共催事業

事業名	小野道風公奉賛 第70回記念 全国書道展覧会「道風展」		
日時	【春日井展】10/28（日）～11/4（日）9:00～16:30 8日間開催 【名古屋展】12/4（火）～9（日）9:30～18:00 6日間開催		
会場	【春日井展】市庁舎、ギャラリー、道風記念館 【名古屋展】愛知県美術館ギャラリーJ1		
入場料等	出品料 第1～4部 5,000円 第5部 3,000円 学生条幅の部 1,300円 学生半紙の部 400円		
入場者数	5,017名	入場率	—
収入	7,127,816円	助成金	—
事業内容	日本三跡の一人、小野道風の偉業を讃え開催する全国公募の書道展覧会。開会式を10/28（日）、表彰式を11/3（土・祝）に開催した。 応募／6,321点 第1部（漢字）143点、第2部（かな）86点、第3部（近代詩文）59点 第4部（少字数）49点、第5部（小品）3点 一般部合計 340点 学生条幅の部 726点、学生半紙の部 5,255点 学生部合計 5,981点		
成果	本展は書道愛好家の鍛練の場、書道教育の振興の場として書道という日本の伝統文化の裾野を広げる役割を果たすだけでなく、明日の書壇を担う逸材を輩出する登竜門の役割も果たしている。また、春日井市は「書のまち春日井」を標榜し、書道文化の振興に力を入れており、特色ある春日井文化の推進を図る核となる事業である。		
備考	主催／春日井市、春日井市教育委員会、小野道風公遺跡保存会、中日新聞社 後援／愛知県教育委員会 協賛／一般社団法人春日井市観光コンベンション協会		

事業名	市制75周年記念 2018 春日井市民第九演奏会		
日時	12/2（日）15:00～16:40		
会場	市民会館		
出演	指揮：井村誠貴 独唱：飯田みち代（ソプラノ）、河村典子（アルト）、中井亮一（テノール）、田中由也（バリトン） 管弦楽：春日井市交響楽団 合唱：春日井市民第九合唱団 合唱指導：松下伸也 賛助出演：中部大学春日丘高校吹奏楽部、成瀬ひろみバレエスタジオ		
入場料等	A席：1,500円 B席：1,000円		
入場者数	875名	入場率	85.6%
収入	—	助成金	—
事業内容	市民参加による毎年恒例の第九演奏会。市制75周年を記念して、春日丘高校吹奏楽部の学生や、成瀬ひろみバレエスタジオの生徒も出演し、華やかな舞台になった		
成果	214名の市民公募の合唱団が舞台に立ち、熱唱した。春日丘高校、成瀬バレエスタジオの生徒が参加したため、入場者数が昨年より85名増加した。		
備考	主催／春日井市、春日井市教育委員会、春日井市民第九演奏会実行委員会 共催／春日井市交響楽団、春日井市民第九合唱団		

4 協力事業

事業名	市制 75 周年記念 まちかどコンサート		
出演	コンサートグループ「花の詩」		
入場者数	1,716 名	入 場 率	— 自主財源比率 —
収 入	—	助 成 金	— 支 出 —
事業内容	市制 75 周年の記念に、この 1 年間、市内の様々な場所でクラシック音楽の生演奏を行い、市民がクラシック音楽を身近に鑑賞できる機会を提供するため、春日井市とコンサートグループ「花の詩」との共催事業として行った「まちかどコンサート」。この事業は年間を通して 12 回実施し、その内 9 回において、コンサートの運営協力や機材の貸出、チケット販売を始めとした広報協力を当財団が行った。 (1) 6/10 (日) 10:30～12:00 「旅立ちの調べ」交流アトリウム 入場者数：300 名 (2) 9/2 (日) 13:00～16:00 「夏の終わりに」東部市民センター 入場者数：541 名 (3) 10/8 (月・祝) 13:00～16:10 花の詩「歌声講座」視聴覚ホール 入場者数：151 名 (4) 11/9 (金) 18:30～19:30 「スターダストナイト」 グルッポふじとう g café Fujito 入場者数：54 名 (5) 11/19 (月) 13:00～13:40 「秋風コンサート」 大型デイサービスセンター サンサンリゾートグレイスフル春日井 入場者数：100 名 (6) 12/21 (金) 13:30～15:00 「TOM 春日井公演」視聴覚ホール 入場者数：92 名 (7) 1/26 (土) 13:30～14:30 「ハル・カルテット」 西部ふれあいセンター・多目的室 入場者数：90 名 (8) 3/3 (日) 10:30～11:10 「ファミリーコンサート」 東部市民センター・セミコンサート室 入場者数：46 名 (9) 3/3 (日) 13:30～16:15 「フィナーレ」東部市民センター 入場者数：342 名		
成 果	普段、クラシック音楽に触れる機会の少ない多くの市民に鑑賞の場を提供した。また、市民と財団と市が協働して事業を実施する良い機会となった。		
備 考	主催／春日井市、コンサートグループ「花の詩」		

5 職員派遣

派遣事業名	平成 30 年度リージョナルシアター事業 全体研修会		
日 時	4 /16 (月) 16:40～17:25	会 場	一般財団法人地域創造
主 催	一般財団法人地域創造		
派遣職員名	小松淳子 (事業推進グループ プロデューサー)		
派遣事業名	就職ガイダンス「音楽業界就職セミナー」		
日 時	7 /19 (木) 14:50～16:20	会 場	名古屋芸術大学
主 催	名古屋芸術大学		
派遣職員名	伊藤早恵 (事業推進グループ スタッフ)		
派遣事業名	フロントスタッフ養成講座		
日 時	8 /26 (日) 13:30～15:00	会 場	武豊町民会館
主 催	武豊町民会館		
派遣職員名	小松淳子 (事業推進グループ プロデューサー)		
派遣事業名	愛公文セミナー I・II・III		
日 時	8 /30 (木)、10/12 (金)、11/15 (木) 各日共に 10:00～17:00		
会 場	愛知芸術文化センター		
主 催	愛知県公立文化施設協議会		
派遣職員名	米本一成 (チーフマネジャー)、小松淳子 (事業推進グループ プロデューサー)		
派遣事業名	舞台芸術人材養成ラボ 技術習熟プログラム「劇場職員セミナー」		
日 時	1 /16 (水) 17:00～18:45、1 /17 (木) 15:00～16:45		
会 場	愛知芸術文化センター		
主 催	愛知県芸術劇場		
派遣職員名	山川愛 (広報コミュニケーショングループ兼総務グループ マネジャー)、大西絵里加 (広報コミュニケーショングループ スタッフ)		

Ⅲ 施設の利用状況

1 施設の利用状況(平成30年4月～平成31年3月)
(1)文芸館

施設名	利用可能日数	利用日数	利用率(%)	利用可能区分	利用区分	回転率(%)	利用件数				利用者数	利用者数計	前年度 利用件数、比較	前年度 利用者数、比較
							貸館	31	一般 減免 公用	22 6 3	18,204 6,371 1,874			
1 ギャラリー	52	48	92.3%	312	255	81.7%	40	9	受託 共催	1 1	2,276 1,092	38,003	38	45,830
	利用可能期間数	利用期間数		利用可能値	利用値				主催	7	8,186		105.3%	82.9%
2 視聴覚ホール	308	216	70.1%	924	512	55.4%	271	203	一般 減免 公用	90 17 96	10,007 2,848 9,885	29,338	293	32,753
								68	受託 共催	12 6	1,812 747		92.5%	89.6%
3 会議室	314	309	98.4%	1,884	1,236	65.6%	363	308	主催	50	4,039			
									一般 減免 公用	28 47 233	1,065 1,061 5,896	9,921	370	10,430
4 文化活動室	308	240	77.9%	924	466	50.4%	288	250	受託 共催	1 19	20 521		98.1%	95.1%
								38	主催	35	1,358			
5 和室	308	141	45.8%	1,848	365	19.8%	141	74	一般 減免 公用	5 134 111	126 3,683 1,890	6,477	278	6,193
									受託 共催	1 7	18 197		103.6%	104.6%
6 交流アトリウム	314	314	100.0%	942	1,081	114.8%	455	29	主催	30	563			
									一般 減免 公用	60 6 8	337 516 76	1,164	75	882
								67	受託 共催	0 3	0 41		188.0%	132.0%
									主催	64	194			
								29	一般 減免 公用	0 6 23	0 2,817 5,162	21,029	533	18,603
								426	受託 共催	17 21	2,832 1,272		85.4%	113.0%
									主催	388	8,946			
合計							1,558	895	一般 減免 公用	205 216 474	29,739 17,296 24,783	105,932	1,587	114,691
								663	受託 共催	32 57	6,958 3,870		98.2%	92.4%
									主催	574	23,286			

(2)市民会館

施設名	利用可能日数	利用日数	利用率(%)	利用可能区分	利用区分	回転率(%)	利用件数				利用者数	利用者数計	前年度 利用件数、比較		前年度 利用者数、比較		
								貸館	114	一般 減免 公用 受託 共催 主催			90 2 22 0 6 13	58,515 1,870 16,941 0 3,850 5,483			168
7 市民会館	225	167	74.2%	675	438	64.9%	133	貸館	114				86,659	168	105,661	79.2%	82.0%
								財団 自主	19								

※利用率＝利用日数／利用可能日数 ※回転率＝利用区分／利用可能区分
※利用可能区分＝利用可能日数／月×利用時間3区分(午前・午後・夜間) 但し、ギャラリーは週単位の貸館で時間区分なし。
※鑑賞者が特定しづらい展示利用の場合は、交流アトリウムの利用人数に含めない。
※交流アトリウムの回転率が100%を超えるのは、同日利用があるため
※市民会館は、平成30年12月10日～平成31年3月22日まで改修工事により休館

2 入館者数一覧(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期 合計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期 合計	合計	前年累計 (件・人)	対前年比 (%)
		開館日数	26	26	26	28	31		26	26	24	24	24	27				
ギャラリー	利用件数	3	3	5	5	4	3	23	3	3	3	4	1	3	17	40	38	105.3%
	利用者数	1,017	4,494	4,542	5,445	3,921	3,034	22,453	3,981	1,785	2,083	3,343	2,106	2,252	15,550	38,003	45,830	82.9%
視聴覚ホール	利用件数	11	13	27	34	27	29	141	30	28	20	22	17	13	130	271	293	92.5%
	利用者数	1,284	1,635	2,558	3,175	2,984	2,940	14,576	4,261	3,013	2,378	1,693	1,729	1,688	14,762	29,338	32,753	89.6%
会議室	利用件数	30	29	34	36	32	32	193	29	30	28	29	25	29	170	363	370	98.1%
	利用者数	629	737	966	1,028	880	1,097	5,337	947	624	707	663	630	1,013	4,584	9,921	10,430	95.1%
文化活動室	利用件数	25	17	25	26	20	24	137	25	29	28	23	22	24	151	288	278	103.6%
	利用者数	372	336	570	559	514	557	2,908	688	698	683	533	462	505	3,569	6,477	6,193	104.6%
和室	利用件数	10	12	11	9	12	10	64	9	14	10	14	15	15	77	141	75	188.0%
	利用者数	94	40	92	86	51	120	483	28	160	44	184	120	145	681	1,164	882	132.0%
交流アトリウム	利用件数	28	30	30	49	64	30	231	33	38	41	36	41	35	224	455	533	85.4%
	利用者数	639	1,613	1,302	594	1,183	1,776	7,107	795	4,616	752	3,418	2,389	1,952	13,922	21,029	18,603	113.0%
ポランテアールーム	利用件数	220	233	209	233	377	189	1,461	124	173	161	185	191	130	964	2,425	2,253	107.6%
	利用者数	1,486	1,184	1,437	1,420	1,653	1,258	8,438	1,368	1,134	1,031	1,219	1,261	1,812	7,825	16,263	19,815	82.1%
文化情報プラザ 日本自分史センター	利用件数	42	40	35	50	35	28	230	27	23	42	38	38	55	223	453	576	78.6%
	利用者数	107	104	132	159	159	128	789	129	142	130	128	121	119	769	1,558	1,587	98.2%
計	利用件数	5,783	10,312	11,711	12,590	11,598	10,999	62,993	12,219	12,226	7,881	11,276	8,926	9,552	62,080	125,073	137,335	91.1%
	利用者数																	

※鑑賞者が特定しづらい展示利用の場合は、交流アトリウムの利用人数に含めない。

※日本自分史センターは施設の特性上、利用者数の厳密なカウントが難しい。利用のほとんどは自分史相談と書籍の貸出し・返却であるため、この数を足したものを利用人数とみなす。

※ポランテアールームについては、人数が特定できる利用についてのみカウントする。

	利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期 合計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期 合計	合計	前年累計 (件・人)	対前年比 (%)
		開館日数	26	26	26	27	26		26	26	8	0	0	8				
市民会館	利用件数	11	10	12	18	18	15	84	20	19	6	0	0	4	49	133	168	79.2%
	利用者数	7,260	6,104	8,459	7,795	6,355	13,286	49,259	14,722	14,056	4,426	0	0	4,196	37,400	86,659	105,661	82.0%

※平成30年12月10日～平成31年3月22日まで改修工事により休館